



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 中村 光希 / 湊 宏美 / 渡邊 優子 / 矢野 美由紀 / 小松 敏也 / 森川 貴道
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	第39回西播地区研究発表会・第10回医療公開講座、第42回丹但地区研究発表会を開催して …	1～2
	第42回丹但地区研究発表会参加して、令和4年度 日臨技近畿支部医学検査学会(第61回)第2報報告 …	2～3
	タスク・シフト/シェア ～一歩先の業務を!～ ……………	3～4
	#研究班、会誌「HYOGO JOURNAL」論文投稿のススメ(1)、行事・求人案内 ……………	4
	会員グルメ情報 ……………	5

組 織 第39回西播地区研究発表会・第10回医療公開講座に参加して

佐野 真理子 会員 (姫路中央病院)

現地開催の空気感に触れて

今回の研究発表会は現地とWebとのハイブリッドで開催され、私は現地参加させていただくことになりました。会場では病院の垣根を超えた交流が行われており、39回も続いた研究発表会のアットホームな空気感に包まれました。いざ研究発表会が始まると、私が想像していたよりも発表を行われた先生方は若い方が多く、ですが、ハキハキとした口調、質疑応答での堂々とした受け答えから普段の業務にいかにか真摯に向き合っているかを想像でき、敬意の念が湧いてきました。午後に行われた市民公開講座では御高名な先生方が各分野について分かりやすく、時にユーモアも交えながら講談されておりとても参考になりました。私もこれから他施設の方々と交流が行えるよう、日々、業務に邁進しながら現地開催に積極的に参加していきたいと思いました。

第39回西播地区研究発表会・第10回医療公開講座に参加して

溝口 紗也佳 会員 (兵庫県臨床検査研究所)

7月24日に太子町あすかホールで開催された第39回西播地区研究発表会にZoomにて初めて参加させて頂きました。

午前に行われた一般演題では8題の演題で、新たな検査項目の基礎検討から各分野での症例報告などでした。午後からの医療公開講座では、はりま姫路総合医療センターの先生により急性下痢と慢性下痢の原因とその対策、姫路市医師会の先生により臨床検査技師の役割と義務についてお話していただきました。私は検査センターに勤めており、コロナ禍における病院での感染防止対策など普段知らないことを学ぶことができました。またこれからの災害医療に加え、新型コロナウイルス対策医療においても必要とされる「走る災害医療ステーション」はとても興味深く、今後の救急災害医療での活躍に期待しています。

今回の研究発表会で学んだことをこれからの業務にいかしていきたいと思います。

最後になりましたが、演題を発表していただいた先生方、企画・運営してくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



第42回丹但地区研究発表会を開催して

濱 靖 会員 (丹但地区理事)

令和4年8月21日(日) 13:30~15:30(会場+Webのハイブリッド開催)

今年度から組織部(丹但地区)理事となりました、公立八鹿病院医療技術部検査科、濱です。コロナ禍第7波に見舞われた第42回丹但地区研究発表会、前週より開催会場の変更、演者の感染によりWeb配信と予定にない運営となりました。しかし実務委員の皆様のご協力を得て無事全行程を終了できましたことは大変うれしく思います。

約30年前この会で演者として緊張と不安を抱え参加した事が思い起こされます。今回は理事という立場でしたが昔の出来事を思い起こしながらの会となりました。現地、Webのハイブリッド開催、一昔前では考えられない開催です。私自身Zoomに少し慣れてきたこの段階の事で会場設営等は何がどうなっているのか???でした。

この状況下においてもこのような催しが可能となり多くの学びを取り入れられる事は当地域においては大変喜ばしい事と思います。しかし近隣の地域の中で顔を見、語る事が出来ない事は寂しさも感じられます。

当地域は京阪神に遠方なため研修会等に出向く機会が少なく、コロナ禍に便乗した形ではありますがWeb開催の取り組みは大変ありがたく思います。

丹但地区、この会をこれまでの継続にご尽力いただいた先輩方皆様に感謝するとともに、今後の発展に繋げていけるようこの場を借りまして今回のお礼と共に、今後のご協力よろしくお願いたします。

第42回丹但地区研究発表会に参加して

井原 杏華 会員 (公立八鹿病院)

今回初めて、発表者として丹但地区研究発表会に参加しました。SARS-CoV-2の検査体制についての発表で、改めて検査体制について理解できました。また、スライドを作成している時にも検査体制が変化することがあり、とてもタイムリーな内容であったため、少し大変な面もありました。発表では、一通りスライドができた後、検査科の皆さんに発表を聞いてもらいアドバイスもいただき、よりよい発表に仕上げられました。発表当日は、現地参加できず、リモートで発表を行いました。リモートでの発表は初めてで、準備等少し不安な事もありましたが、しっかりと発表できたので良かったです。この発表を作るにあたって、検査科の皆さんをはじめ多くの方に協力していただき、発表では現地に行けずリモートでの参加になってしまい、ご迷惑をお掛けしました。この場をお借りして、協力してくださった皆さんに感謝を述べたいと思います。ありがとうございました。



令和4年度 日臨技近畿支部医学検査学会(第61回) 第2報 報告

EventInって何?

株式会社ブイキューブが提供しているEventInは、一方向の情報発信だけではなく、参加者同士のコミュニケーション、メーカー様とのコミュニケーションが取れるオンラインイベントのプラットフォームです。本学会では、新たな仕組みとしてこちらを利用した運用にて開催いたします。是非、Web視聴にてご参加下さい。

EventInの特長 ①

実地会場さながらに、講演会場を一覧でき、ワンクリックで入室できます。会場に入る前に講演を「お試し視聴」することもでき、気軽に立ち寄ることができます。



EventInの特長 ②

協賛企業ブースにも気軽に立ち寄り、動画・資料の閲覧や、セミナー視聴が可能です。



EventInの特長 ③

アプリのインストールは不要で、PC・スマホのブラウザだけで参加できます。質問や他の参加者との交流も、ビデオ通話やチャット感覚で簡単にできます。



タスク・シフト／シェア ～一歩先の業務を！～

元木 雅浩 会員 (神鋼記念病院)

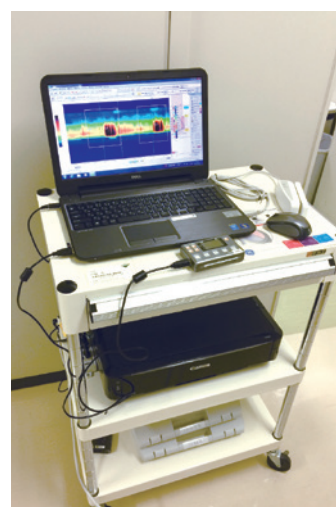
タスク・シフト/シェアの推進業務の一つに直腸肛門機能検査があります。直腸肛門機能検査とは排便機能障害(便失禁、便秘等)における直腸肛門の機能を多角的に評価する検査です。

排便機能障害は肛門の筋肉や神経の障害で、排便コントロールが困難な病態です。本邦では約500万人もの潜在的患者がいると推測され、適切な検査、治療が必要です。

排便機能障害で最も訴えが多いのが、便失禁です。便失禁には大きく分けて漏出性便失禁と切迫性便失禁の2種類があります。漏出性便失禁は不随意筋である内肛門括約筋の障害で、便意を感じる事なく気づかないうちに便が漏れている状態です。切迫性便失禁は随意筋である外肛門括約筋の障害で、便意は感じるが、トイレまで我慢できずに漏れてしまう状態の事をいいます。

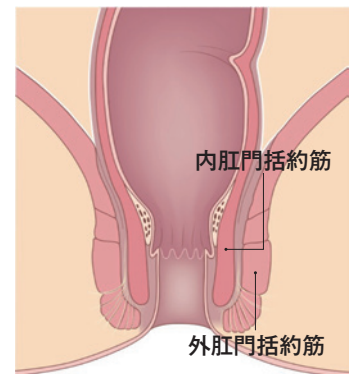
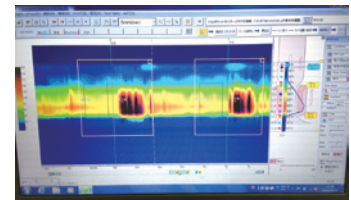
直腸肛門機能検査の目的として、排便機能障害の原因に肛門括約筋が関与している場合、どの括約筋が障害されているかの診断、直腸感覚が障害されていないかの診断、直腸癌の手術前後の肛門機能の評価等があります。

直腸肛門機能検査は、①直腸肛門内圧測定：専用の圧センサーを肛門に挿入し、肛門に力を入れない安静時圧(最大静止圧)と力一杯肛門を閉めた時の圧(最大随意圧)を測定。②直腸肛門感覚検査：直腸内にバルーンを入れ少しずつ膨らませながら、最初に便意を感じる最小感覚閾値と便意を我慢できなくなった最大耐容量を測定。③直腸肛門反射検査：直腸内にバルーンを入れ膨らませた時の肛門の



反射を測定。他にも④直腸コンプライアンス検査 ⑤排出能力検査があり、当院では看護師が圧センサーやバルーンの挿入等手技を行い、検査技師は装置の操作、解析を担当しています。排便障害に対する治療法として、薬物療法や食事療法、バイオフィードバック療法による外肛門括約筋の収縮、弛緩訓練等があります。

当院の排便機能障害外来は医師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士、診療放射線技師など多職種が関与し連携を図り、排便障害で悩む患者さんの生活の質の向上に貢献できればと考えています。



タスク・シフト/シェアに関する指定講習会受講状況

指定講習会 修了率 (8月1日時点)			兵庫県 (8月20日時点)		
日臨技 会員	近畿支部 会員	兵庫県 会員	実技講習会 修了者	Web基礎 講習履修済	Web基礎 講習受講中
7.7%	6.3%	4.8%	125人	154人	266人

#研究班

大石 博一 会員 (微生物検査研究班)

#微生物検査研究班です。空が澄み清々しい秋を感じる頃となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。微生物検査研究班です。今年度から班長をさせていただいております。日常業務に加え班長業務の多さに戸惑い、地に足がつかず浮足立ち、班長を引き継ぐと決まった今年2月からずっと少し浮いてます。(えっ！ウソですけど、笑)

冗談はさておき、微生物検査研究班では例年「初級者講習会」を開催しております。この企画は、全国に先駆け約30年以上前から「新人研修会」としてスタートしたもので、歴史が古く兵庫県の研修会の根幹となるものであり、研究班としても重要視しているイベントです。

しかし新型コロナウイルスの影響から開催が2年間滞りました。由緒あるこの企画を休止させるわけにはいかない！との思いから班員一同、入念に計画・準備し今年度は神戸常盤大学をお借りして開催させていただきました。ご参加いただいた受講生の皆様、実務委員でご参加いただいた皆様ご協力有難うございました。

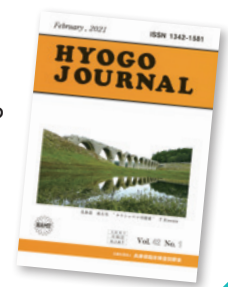
この「初級者講習会」に参加し指導者および受講生等と縦横の繋がりを築き、人脈を広げ、微生物検査技師が育っていく、これが「兵庫スタイル」！これからも班長として微生物検査研究班の「兵庫スタイル」を継承していきたいと思っております。今後とも研究班活動に、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



会誌「HYOGO JOURNAL」論文投稿のススメ——1

兵庫県臨床検査技師会では、会誌「HYOGO JOURNAL」の論文掲載を行っています。こちらで掲載された論文は、Medical Onlineから多くの方にも閲覧されます。是非とも、若手からベテランの方と幅広くご活用ください。論文掲載に至るまでには、査読委員による査読・修正等の時間がかかるため、受験資格等が必要な場合はできるだけ余裕を持って投稿をお願いいたします。

*投稿規定：技師会HP▶兵臨技のご案内▶会誌「HYOGO JOURNAL」投稿規定



行事予定案内および求人情報は、ホームページに掲載しております。
右のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報





今回のグルメ情報数珠つなぎで紹介するのは、「明石名物 玉子焼き本家きむらや」です。

JR明石駅から南方面に100メートルの場所にあり、休日にはいつも行列ができて人気店です。玉子焼きが食べられるお店は明石に複数ありますが、中でも一度は食べて欲しい名店の一つです。

玉子焼きの特徴は、小麦粉とじん粉（小麦デンプンのこと）、卵を使った生地をタコ焼きのように丸く焼き、お出汁につけて食べるところです。

「きむらやさん」の玉子焼きの生地の中には、明石の市場で仕入れた新鮮なタコが入っており、それを温かいお出汁につけていただきます。優しい和風のお出汁の中でフワフワになる生地とプリプリのタコの相性が良く、次から次へとパクパク食べられます。一人前で20ヶもあり、お腹いっぱいになる大満足な量です。二人で一人前の注文も大丈夫なそうなので、多くの量を食べる自信の無い方でも安心です。個人的には、お出汁で楽しんだ後、七味をかけて食べるのもオススメです。

また、玉子焼きの他にも味わってほしいのが、おでん（関東煮）のタコの足。大きな足が一本丸々できてきますが、驚くほど柔らかくペロリと平らげてしまいました。次回、来店した際は、色んな具材のおでんも頼んでみたいと思います。

腹ごしらえを終えたら、すぐ近くの「魚の棚」で明石特産の海の幸や練り製品、地酒を買うもよし。少し足を伸ばし、海岸で、明石海峡大橋や淡路島を眺めるもよし。明石にぜひお越しの際は、美味しいグルメと素敵な景色をお楽しみ下さい。

《店舗情報》

店 名：明石名物 玉子焼き 本家きむらや

住 所：〒673-0884 兵庫県明石市鍛冶屋町5-23

T E L：078-911-8320

営業時間：10:00~17:00（仕込分が無くなり次第終了）

定 休 日：毎週月曜日定休、月1回不定期で火曜日休み

営業時間・定休日に変更となる場合がございますので、ご来店前に店舗にご確認ください。



高岡 欣也 会員
(加古川中央市民病院)



コロナで、歓迎会や懇親会が難しい状況ですが、会員の皆様の親交を深める場として、頑張っているお店を応援するためにも、広報ではグルメ情報を発信し続けていきます。一日でも早くコロナが落ち着きますように。



i が描く新たな地平。

Aplio i-series Prism Edition

【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i900 TUS-AI900 【認証番号】228ABBZX00020000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i800 TUS-AI800 【認証番号】228ABBZX00021000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i700 TUS-AI700 【認証番号】228ABBZX00022000

J000160-01

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



オートスタート^{※1}や自動再検機能など
 “Touch-Free”を目指し、
 さらなるベネフィット向上を
 実現するXRシリーズ。

- 特徴**
- ・最大220検体/時間の処理能力^{※2}
 - ・オートスタート^{※1}機能搭載
 - ・自動再検機能で検査効率の向上
 - ・幼若血小板比率 (IPF)、幼若顆粒球 (IG) のレポート自動化
 - ・3Dスキヤットグラム表示
 - ・Caresphere™ AM対応

※1 オプション
 ※2 XR-2000の場合



多項目自動血球分析装置 XRシリーズ **NEW**

多項目自動血球分析装置 XRシリーズ
 (医療機器製造販売承認番号: 2881X10014000008) *外観、仕様等については取説のため予告なしに変更することがあります。

製造販売元
 シスメックス株式会社

本社 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支店 仙台 022-722-1710	北関東 048-600-3888	東京 03-5434-8550	名古屋 052-957-3821	大阪 06-6337-8300
広島 082-248-9070	福岡 092-411-4314			
営業所 札幌 011-700-1090	盛岡 019-654-3331	長野 0263-31-8180	新潟 025-243-6266	千葉 043-297-2701
横浜 045-640-5710	静岡 054-287-1707	金沢 076-221-9363	京都 075-255-1871	神戸 078-251-5331
高松 087-823-5801	岡山 086-224-2605	鹿児島 099-222-2788		

日本薬工学会 03-5434-8565



注1: 活動及びサイトの運用範囲は規格により異なります。
 詳細は www.sysmex.co.jp の ID 011059004 を参照。
 Note: Scope of sites and activities vary depending on the standard.
 For details, refer to the ID 011059004 at www.sysmex.co.jp

www.sysmex.co.jp